

シンポジウム「NHKに公共放送の役割を果たさせるために」レジメ（長井）

「NHKの政権追従報道の現状とその背景」

1. 安倍政権以降のNHKへの介入

- ・第二次安倍政権で総理と親しい人物が経営委員に任命される
- ・第一次安倍以降の経営委員長
- ・第一次安倍政権以降のNHK会長

- ・放送現場に介入する執行部
 - ・ 靱井勝人会長時代 「安保法案」＝板野裕爾放送総局長
 - ・ 上田良一会長時代 「森友・加計・桜」＝小池英夫報道局長

2. 菅政権によるNHK支配強化

- ・前田晃伸会長
NHK経営計画（2021～23年度）
受信料の値下げ 衛星波（BS）の削減 ラジオ（音声波）の削減

- ・菅政権の受信料の値下げ圧力

- ・放送現場で起こった異常事態
 - 10月29日「クローズアップ現代+ 学術会議をめぐり何が？」
百地章・国士舘大学特任教授のインタビューが放送直前にねじ込まれる
 - 10月26日「ニュースウオッチ9」
- ・坂井学官房副長官の怒り（10月26日「ニュースウオッチ9」）
「学術会議について話を聞くなんて」「NHK執行部が裏切った」

- ・放送現場に介入する執行部
「日本学術会議 東京五輪パラ」＝正籬聡副会長・放送総局長

3. 異常な NHK オリンピック放送

- ・大会前 菅政権のオリンピック政策を強力に後押しする NHK
- ・大会中 オリンピック中継一辺倒＝
ニュースを縮小、新型コロナや原爆に関する特番も編成せず
- ・NHK スペシャル「令和未来会議」スタジオ収録・放送延期事件（1月15日）
日放労・放送系列の緊急申し入れ（1月22日）
- ・背景に「森喜朗会長が NHK の世論調査の報道に怒っている」という情報
- ・2月に行われた NHK 世論調査の「東京五輪・パラ」の項目は、聞き方と選択肢を恣意的に変更
- ・NHK 聖火リレー中継・消音事件（4月1日）
現場には「オリンピックに対してネガティブなものは伝えないようにする」という指示
- ・板野専務理事を留任させる官邸からの横槍（4月2～6日）
経営委員会で板野専務理事再任を含む人事案に同意（4月20日）
- ・オリンピック期間中の NHK の報道（7月23日～8月8日）
- ・日本選手の活躍を中心としたオリンピック中継一辺倒
「ニュースウオッチ9」の放送時間を短縮＝
新型コロナ感染に関する目立たなくなる
- ・日本選手がメダルを取ると「NHK ニュース速報」で伝える
- ・7月28日に東京の感染確認が3千人を越えても、新型コロナの緊急特番を編成せず→やっと放送したのはオリンピック終了後の8月11日＝
NHK スペシャル「新型コロナ“第5波”最大の危機をどう乗り越えるのか」
- ・8月6日に広島原爆に日にも NHK は43年ぶりに「原爆特番」を編成せず
- ・政府が入院基準の方針転換などを打ち出し、社会不安が高まる中で、NHK は公共放送としての使命・役割を果たさず